

1F 多様な主体の交流の場

(1) 温かみがあり多様な主体が集う空間

壁面にスギ材、床面にクリ材（いずれも宮城県産材）を使用するほか、木目調の什器を多く取り入れ、温かみがあり居心地のよい空間に。

(2) 2Fの空間活用

1Fと吹き抜け空間の調和を図るため、ブリッジ部分にグラフィックシートによる装飾を行う。必要に応じてイベント等での利用を検討。

(3) 交流スペースの設備充実

短焦点プロジェクターの設置や壁面のホワイトボード化により、イベント時の利便性が向上。

(5) 受付カウンター

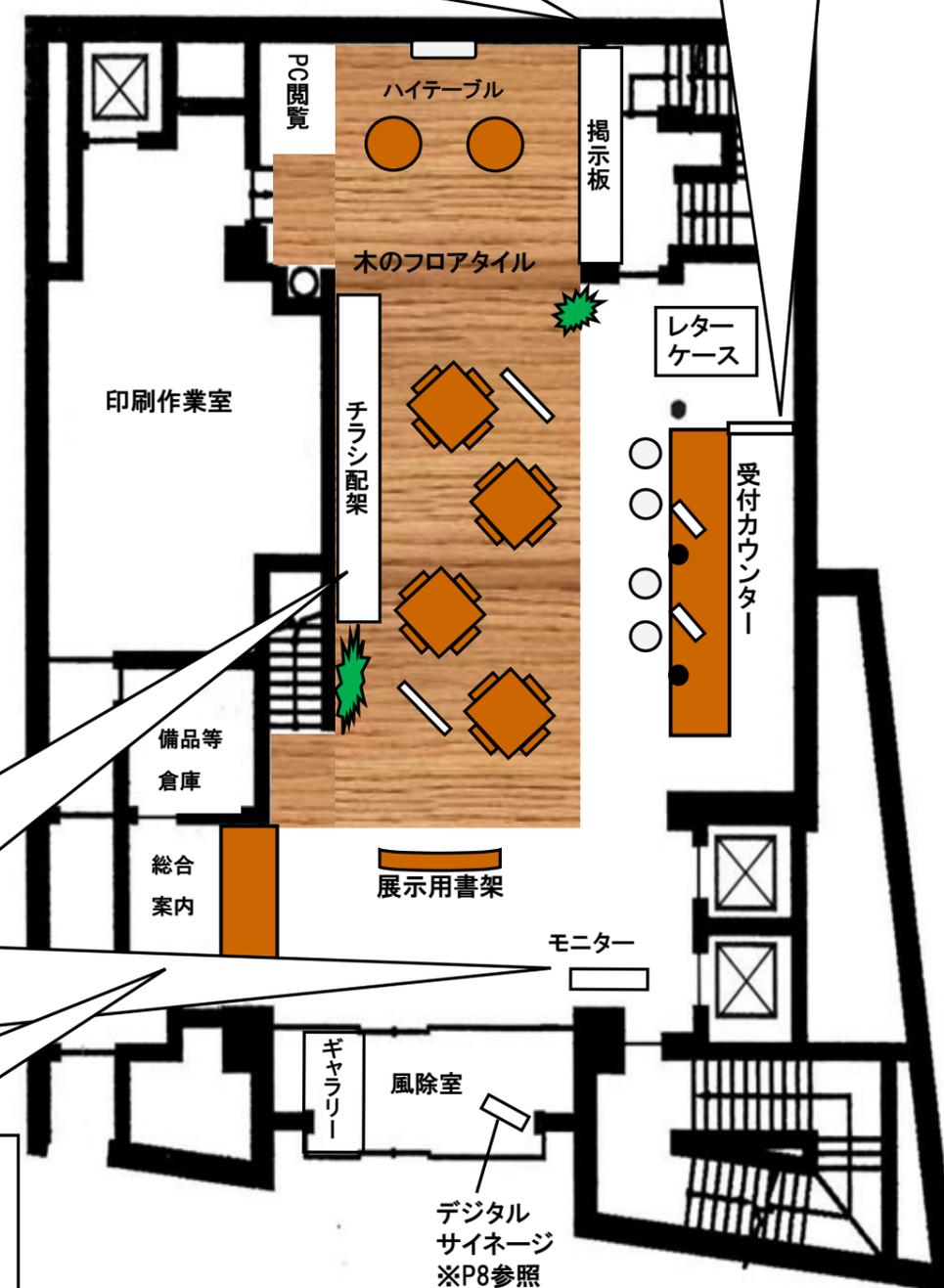
1階全体の動線や、利用者の利便性を考慮した受付カウンターを設置。



POINT①
パース作成: 株式会社イーキ東北支店

(4) 交流掲示板の新設

利用者間の交流のための掲示板を設置。



(6) 情報発信・提供機能の強化

これまでの情報提供に加え、スマホ等でボランティア募集情報などに気軽にアクセスできるように、QRコードでのリンクなどを掲示する。また、モニターを設置し、館内の利用状況やイベントについて発信する。

(7) 総合案内の新設

貸室の鍵・備品等の貸し出しや、館内総合案内を行う総合案内を新設。
→学都仙台コンソーシアム事務室は7階へ

1Fでの新たなソフト事業 (案)

- 多様な主体との共催によるワークショップ・セミナー
NPO・企業・大学などと連携して、協働・地域課題等に関するイベントを実施。
- サポセン主催の「はじめてのミニイベント講座」実践支援
講座受講者（イベント初心者）による実践の場として提供し、運営支援を行うことで、市民活動団体の活動力強化につなげる。
- ONPO等によるブース出展（小物・カフェ・ワークショップ等）
- 掲示板を活用した利用者・スタッフとの日常的な交流の促進
掲示板を利用者間の双方向コミュニケーションボードとして活用し、イベント時以外での交流を図る。

1F

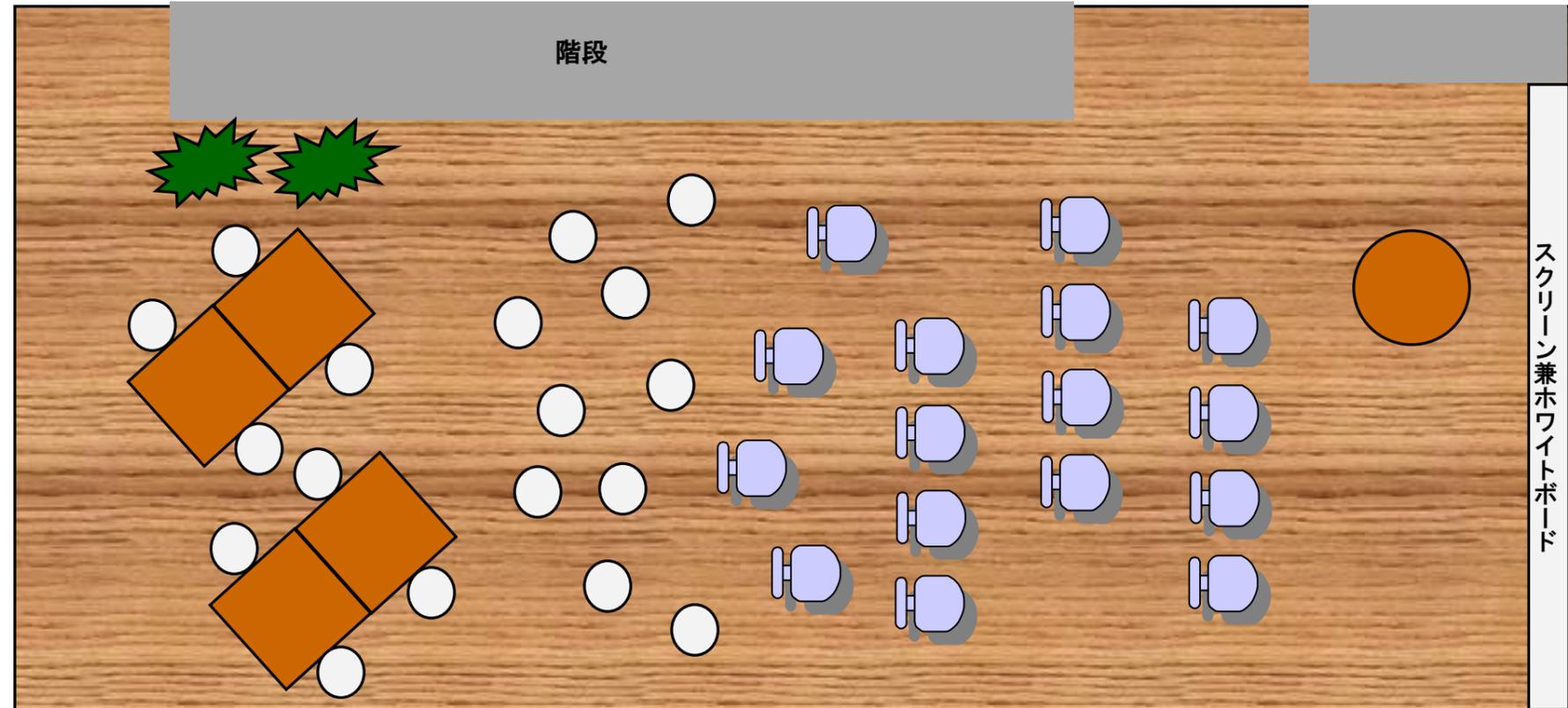


1F 交流スペース(仮) 用途別レイアウト (一例)

①セミナー等開催時

最奥壁面のホワイトボードとプロジェクターを活用したセミナー形式イベント。

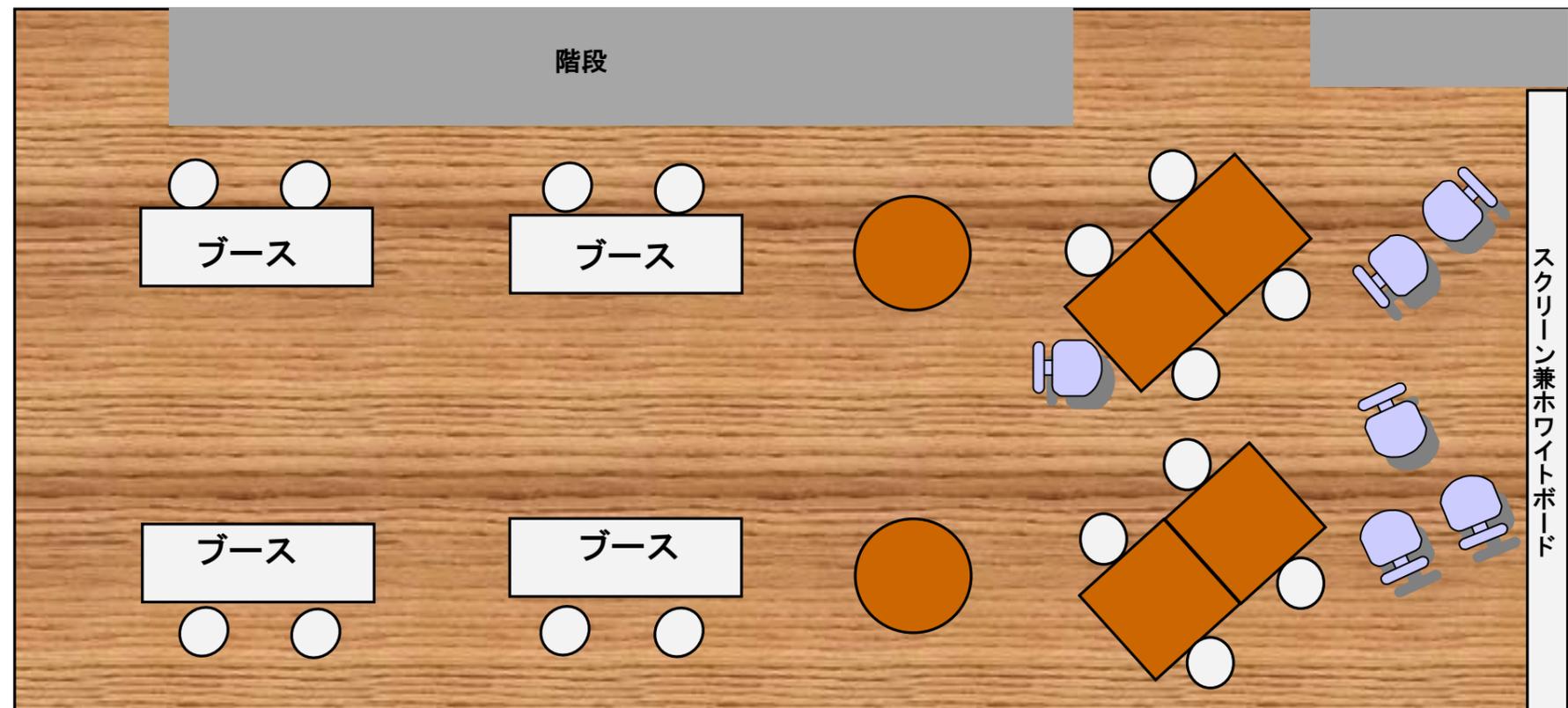
イスや机の配置は、状況に応じてフレキシブルに変えることができるため、多様な主体との共催によるイベント時にも、イベントの目的やねらいにあわせて、様々な形態で開催できる。



②ブース出展時

ゆとりある空間の中で、市民活動団体によるブース出展を行い、市民活動に関心のある方だけでなく、通りがかりの市民など、これまでサポセンや市民活動に関心のなかった市民に対してもアピールする機会とすることで、新たな利用者層の拡大を図る。

あわせて、ブース出展の準備等を通して、出展団体同士の交流を促進し、協働の機会創出を図る。



3F 利便性の向上

(1)情報サロンの移設

これまで1階に配架していた団体情報ファイル等の資料を3階に移動し、情報サロンとしての機能を移設する。

(2)掲示板を拡充

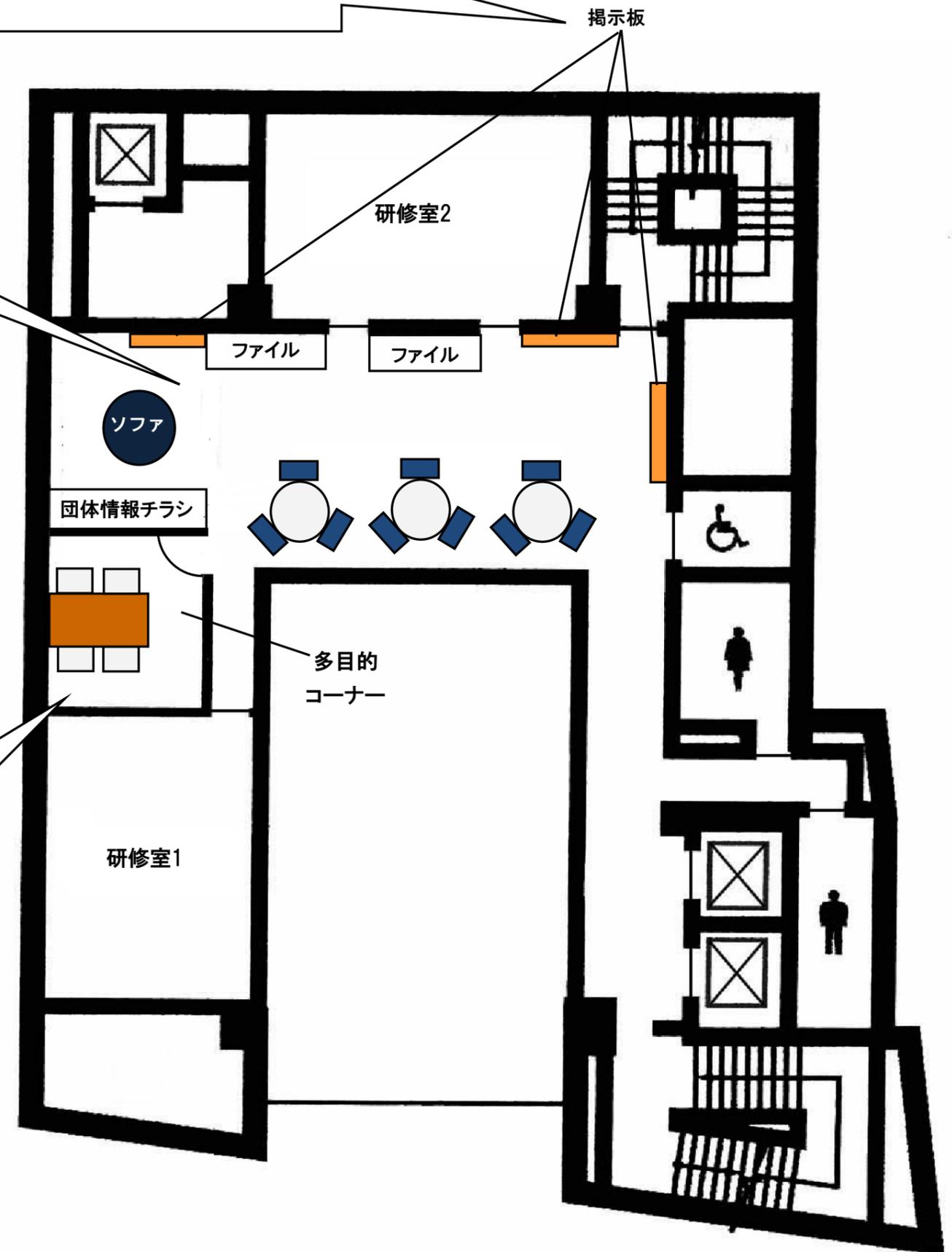
既存の掲示板スペースを拡充し、市内の市民活動団体の情報や団体運営に役立つ情報等を中心に発信する。

(3)多目的コーナーの設置

オープンスペースの利用が難しい個別相談対応や、授乳など配慮が必要な方の利用等、状況に応じて様々な利用ができるスペースを設置。



改修前の様子



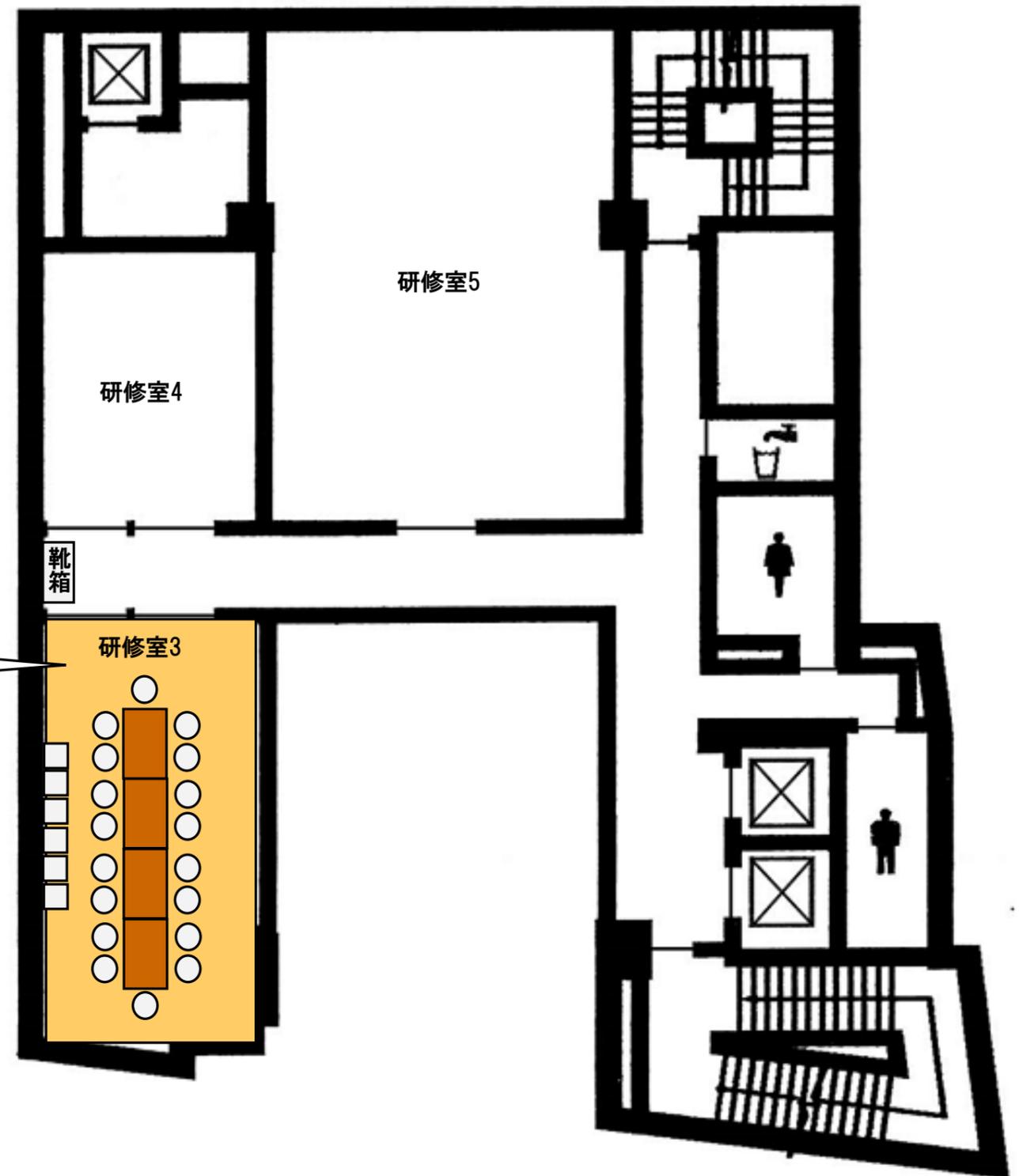
4F 利便性の向上



(1) 研修室3の改修

床面を全面土足禁止に改修し、座椅子やクッションを備え付けることにより、子どもから高齢者まで幅広い利用者がより快適に利用できるよう整備。

4F



5F 様々なプロジェクトを生み出すためのミーティングスペース

(1) 掲示板の拡充

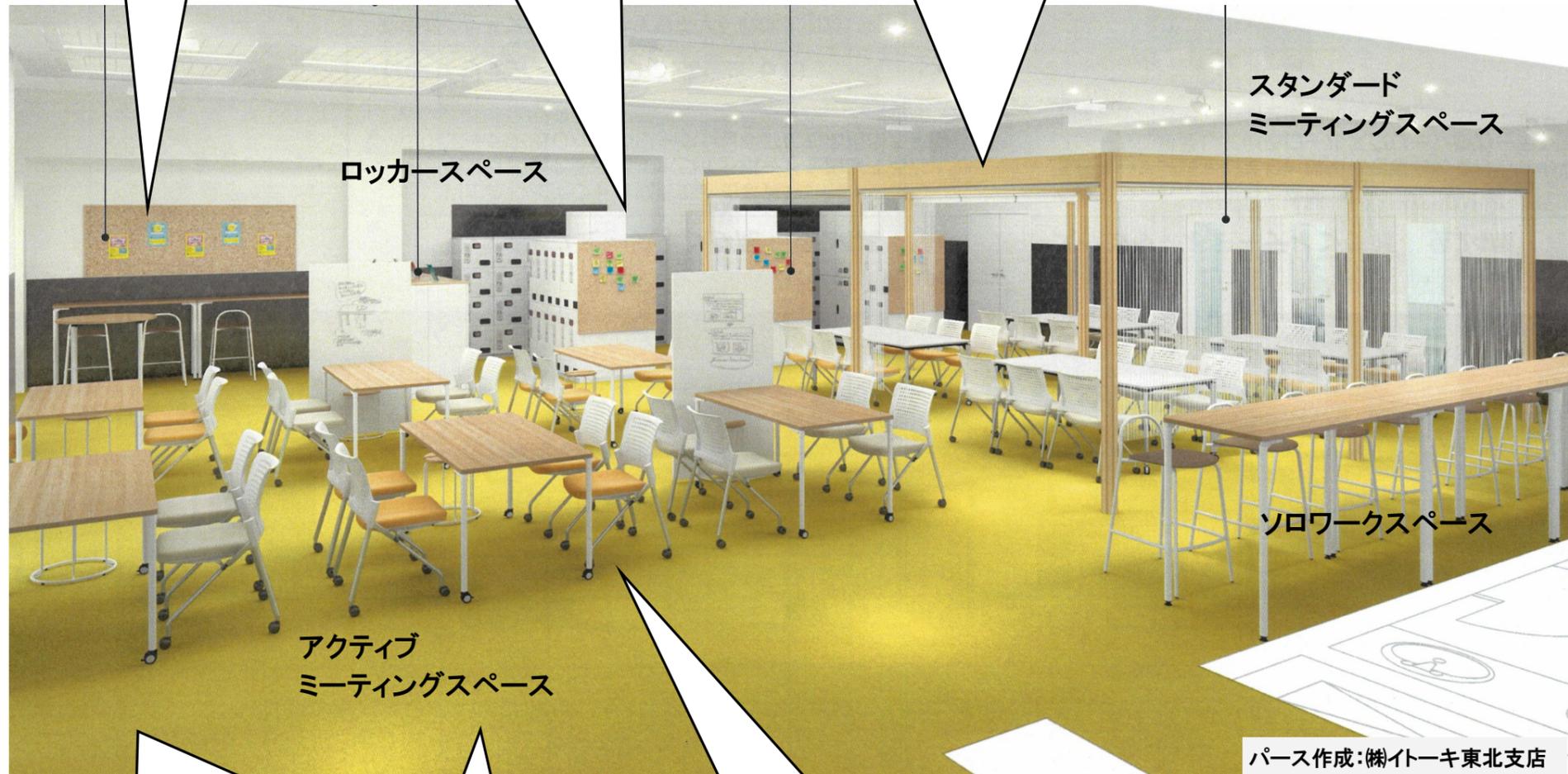
掲示板のスペースを拡大し、情報発信の充実を図る。

(2) ロッカーの増設

利用者ニーズの高いロッカー（大）を増設する。

(3) 用途に応じたスペース区分

緩やかな仕切りにより落ち着いて打合せができる「スタンダードミーティングスペース」、机イスの組み換えができ、活発な意見交換などに適した「アクティブミーティングスペース」、個人での作業に集中できる「ソロワークスペース」の3つのスペースを整備し、利用者のニーズにあわせた利用を可能とする。



(4) カーペット貼り替え

経年劣化していたカーペットを貼り換え、全体として明るい印象に。

(5) 電源コンセントの充実

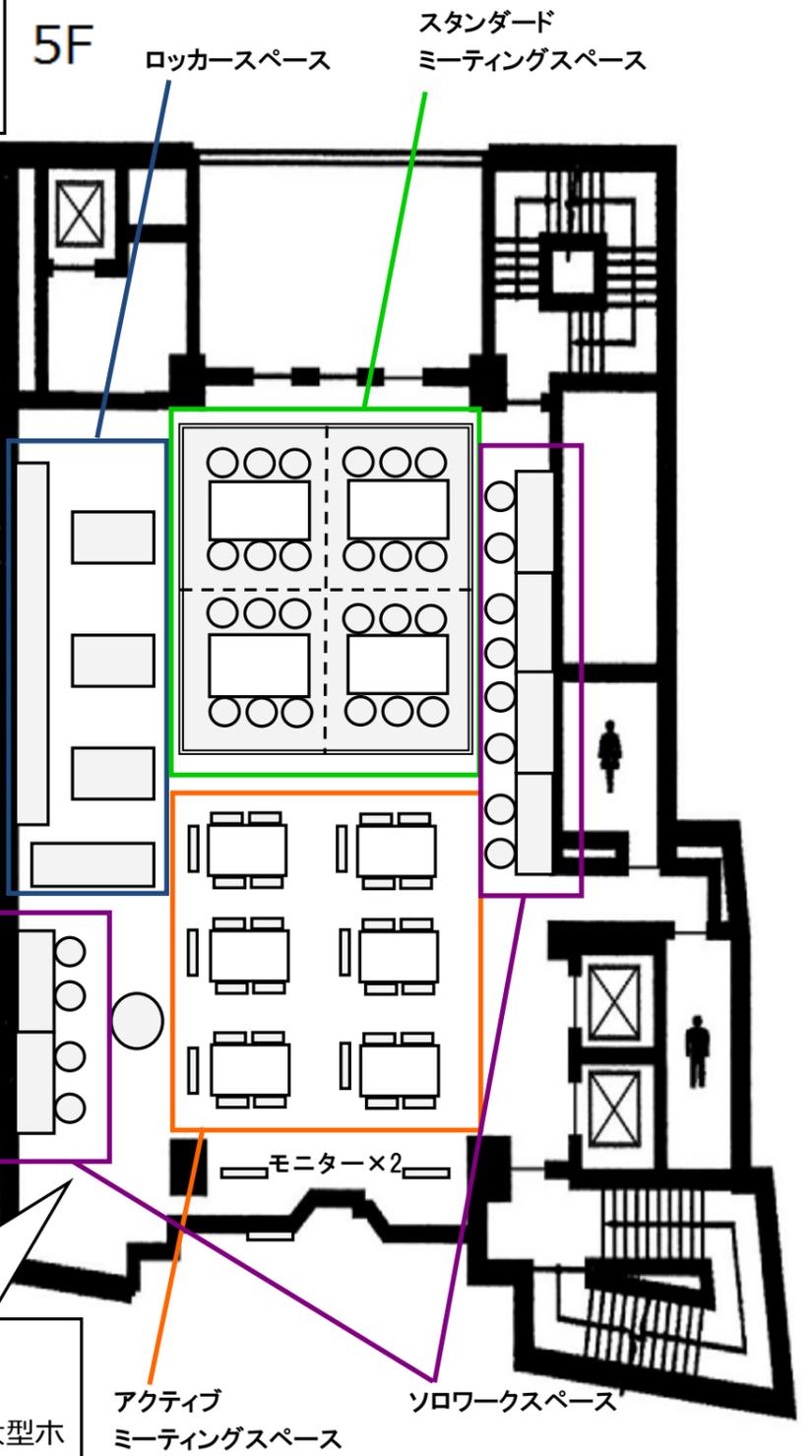
すべての机で電源が利用できるよう配線を整備。

(6) フレキシブルなレイアウト

ミーティングスペースの机等は移動が容易で、通常の利用に便利だけでなく、イベント時にも活用可能。

(7) 備品の整備

打合せ時に利用可能なモニターや大型ホワイトボードなどを新たに設置。



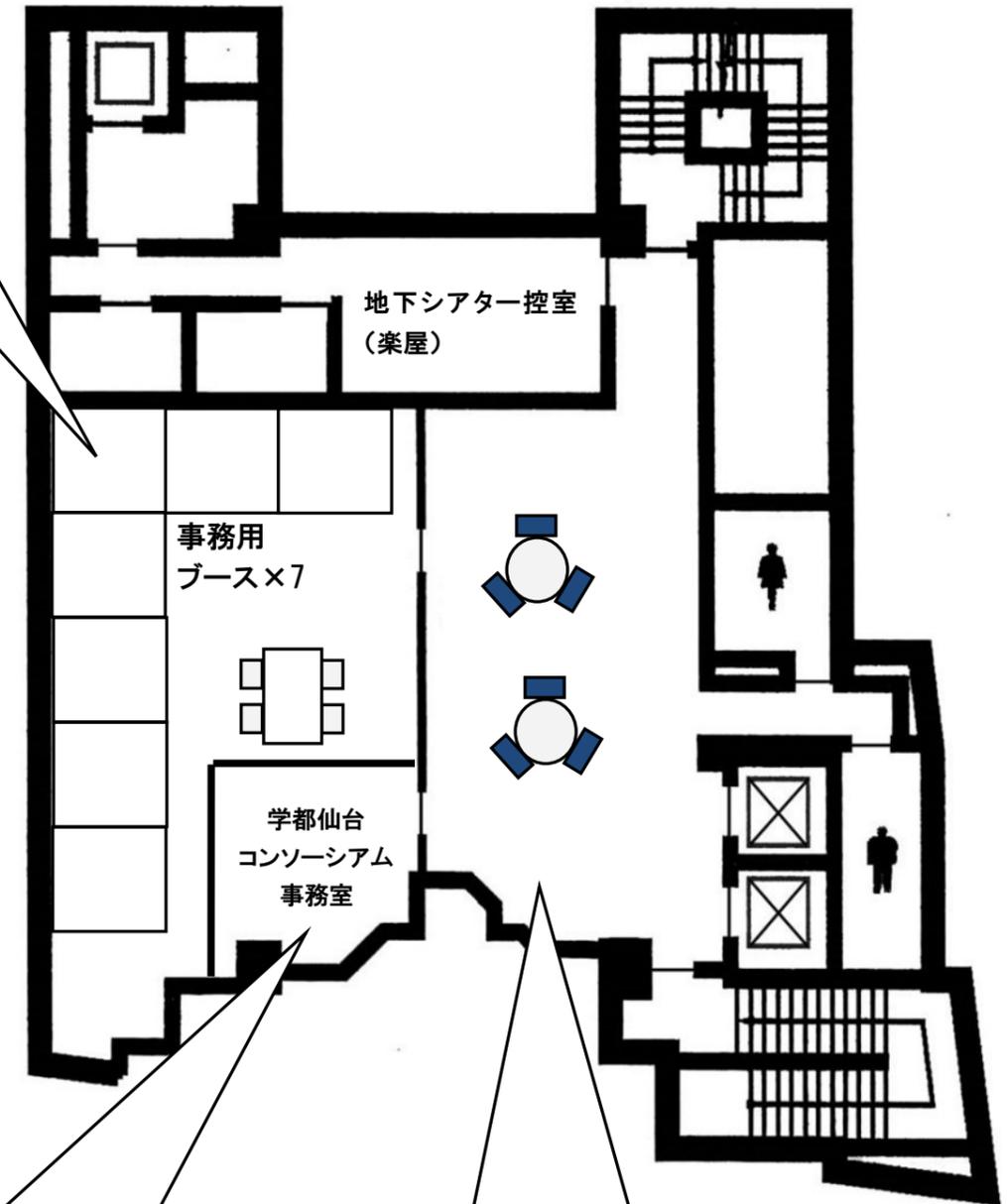
7F 事務用ブースの機能向上

(1)事務用ブース什器の更新

什器を新規購入し、より快適な環境を整備した。ブース数は使用可能面積と現状での入居数を考慮し7コマ設置。今回の機能強化完成に合わせて、入居団体の追加募集を実施。



7F



(2) 学都仙台コンソーシアム事務局の移設

1階総合案内の設置のため、学都仙台コンソーシアムを7階へ移設。

(3)カーペット貼り替え

経年劣化していたカーペットを貼り換え、全体として明るい印象に。

外壁 視認性の向上と未利用者層へのアプローチ

(1)外部に向けた情報発信



風除室にギャラリーコーナーやデジタルサイネージを新設し、歩行者に対してサポセンや市民活動団体のPRを行い、新たな利用者層の拡大を図る。

(2)施設名サインの機能向上

外壁サインにLEDバックライトを設置し、夜間の視認性を向上させるほか、歩行者の目に留まる位置に新たにロゴサインを設置する。新たな利用者の拡大を目指す。

